なでしこだより

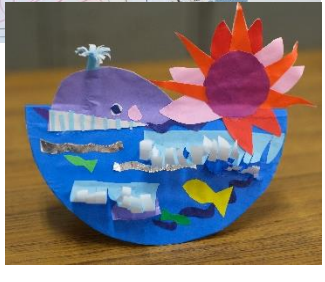
岡山大学教育学部附属小学校
令和２年度　６／１９号
E-mail okafusho@okayama-u.ac.jp
附属小HPもご覧ください

学校に行けることの喜びがあふれて

子どもたちの笑顔が拡がっています！

スクーリング。少人数を生かし丁寧に今の気持ちを聞きました。表情が柔らかくなっていきました。

友だちと遊べて、楽しい！うれしい！
遊びと通して人と出会う喜びを実感します。



時間をかけて学んだノートや作品の数々。家での頑張りが伝わりました

校門に入るその時から、わくわくしている子供の気持ちが伝わってくる。先週のスクーリング期間、そして今週からの学校生活は、そんな素朴であたりまえのことが帰ってきた日々でした。先生の顔が見えたら、もううれしくて、友達の顔が見えたら、ほっとしたような声が出て…。久しぶりの学校生活が楽しくてたまらない。そんな様子があちこちで見受けられました。

もちろん、3月以前の様子とは、ずいぶん違うところもあります。みんなマスクをしている。時差登校をしている。給食時間は学校中、どこからも一言も声が聞こえない。残してもいいけれど、おかわりはできない。その他、細かい約束がたくさん加わったり、変わったりしています。でも、それでも、やっぱり学校は子どもにとって、楽しい場所なのです。工夫をし、形を変えてでも、子どもたちの成長の場であるこの学校生活を維持してまいります。

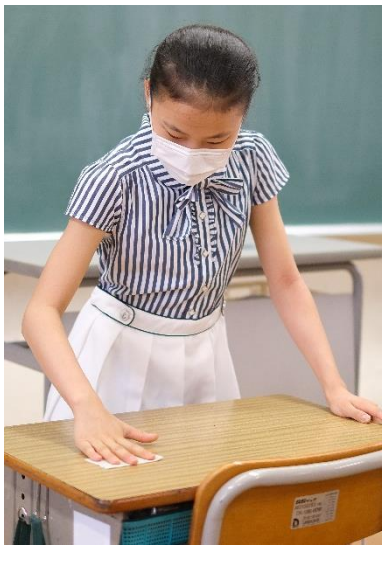
前号（６月５日・附小HP版のみ）と重なりますが、オンライン授業の期間中、またスクーリング期間中、本当にたくさんのご協力、ありがとうございました。ご家庭でのご協力無くしては、この新型コロナウイルス感染症の渦の中で子どもたちの学習を続けていくことはできませんでした。心よりお礼申し上げます。これからも、ご不便やお手数をおかけすることがたくさんあるかと思いますが、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「新しい日常」の中の学校へ　2

今までとちょっと違う
でも　今まで通り楽しい！

運動している時はマスク無しも（スポーツ庁の指導による）。互いの間隔は開けて、見て学ぶ。話し合う時にはマスクをつける。
手間はかかりますが、切り替えが大事！

友だちに話を聞いてもらえることって、こんなに楽しいんだ！　聞く子たちも興味津々。「発表」という当たり前の風景の中にある幸せを感じていました。



朝登校したら自分の机を自分できれいにすることから始まります。また、放課後には教職員で消毒を行っています。

オンライン授業でみた植物を、改めて間近に見る。実物と映像を結びつける大切な場面。実物に接して学ぶことは今後も大切にしていきます。

「お友だちと遊びたい。」「いっしょに授業がしたい。」「遠足に行きたい。」「小さい子に親切にしたい。」「『ぼっけえ楽しい附属小学校』を取り戻したい…。」今の時代、この社会を、子どもの目線でしっかりと感じ取っています。窓辺に飾ったみんなの夢を読んでいると、思わず涙が出そうになりました…。